

## 新型インフルエンザ（インフルエンザA型）への対応について

今回の新型インフルエンザ（インフルエンザA型）は、北米で見られる豚インフルエンザウィルス2種類と、人のインフルエンザウィルス、ユーラシア大陸で見られる鳥インフルエンザウィルスが遺伝的に混ざり合ってきた、今までに世界で存在しなかった新しいウィルスで起こっており、人から人へと伝播します。

インフルエンザの潜伏期間（感染してから発症までの期間）は通常2～5日間ですが、今回の新型インフルエンザでは一部に10日間とも言われています。

通常、人は豚インフルエンザ（今までに存在する型）にかかりにくく、かかっても軽症で済み、人から人へは移りません。今回の新型インフルエンザは人から人へと移りますので、豚インフルエンザとは呼ばず、ここ数日で新型インフルエンザという呼び名が定着してきました。

**養豚生産者として、新型インフルエンザについて理解すべき重要項目は以下の通りです。**

1. 豚肉は食べても安全です。
2. 今回の新型インフルエンザウィルスは今までに日本に存在しないウィルスです。
3. 人から人へ移ります。豚が人への伝播に直接かかっているとの報告はありません。
4. しかし、豚インフルエンザウィルスと共通な遺伝子を部分的に持っていますので、人から豚へ移ることが予想されます。
5. 今、われわれが最も注力すべきことは、新型インフルエンザに感染した人から養豚場の豚に感染することを防ぐことです。その推奨ポイントは；
  - (1) 今まで農場で実施しているバイオセキュリティ（防疫対策）を徹底すること。
  - (2) 体調不良な従業員、および家族に体調不良な人がいる従業員は入場を避け、医者診察を受けること。
  - (3) 農場に入る人は必要不可欠な人に限り、訪問者をできるだけ制限すること。
  - (4) そして、入場させる訪問者では以下の点を確認してください。
    - ① 訪問日の10日以内に海外旅行をしていないこと。
    - ② 極力、新幹線や飛行機などの公共交通機関を利用していないこと（機内、車中で誰と接触しているかわからないから）。
    - ③ 通常通りのシャワーインと衣服交換後、マスクと手袋を装着してもらうこと。
  - (5) さらに、農場スタッフも、極力、公共交通機関の使用を避け、また、人ごみに行くことも避けてください。
  - (6) 農場従業員は通常の衛生管理を徹底すること。すなわち、手洗いの励行、衣服の交換、咳のエチケット（豚に咳やつばをかけないなど）の励行です。

なお、アメリカ国内でも、同様に養豚場への感染者からの新型インフルエンザウィルスの侵入防止を徹底する呼びかけがされています。

また、USDA（アメリカ農務省）の研究施設では、今回の新型インフルエンザウィルス（カリフォルニアの発生例から採取したもの）を用いた豚への感染実験がおこなわれており、ウィルスの肺での増殖や鼻からの排泄に関する結果は1週間以内に出るようです。また、病原性や豚での伝播およびワクチンの有効性に関する試験は2週間以内に始まるとのことです。

以上、正しい情報に基づき、農場を新型インフルエンザの侵入から守ることをお願いします。日々、刻々と状況が変化しますので、新しい情報を得ましたら、また、ご連絡申し上げます。何か不明な点などが有りましたら、ご連絡ください。

2009年5月1日

(有) バリューファーム・コンサルティング  
呉 克昌